

関西テレビ

「よ〜いドン」となりの人間国宝さん

「奈良・桜井をぶらり歩き」

令和5年(2023)4月13日・14日放送

よ〜いドン!の人気コーナー「となりの人間国宝さん」では関西各地の街をぶらり歩きする中で出会った素適な人たちを「となりの人間国宝さん」として認定していく番組です。

今回の放送では月亭八光が「奈良・桜井をぶらり歩き」し桜井駅前のお団子屋さん「まほろばの里 卑弥呼」へ入った。(写真右上)

84歳の看板娘(店長)が平均年齢80歳のボランティアスタッフと一緒に働いている。

店長がお店を始めたのは80歳で、かつて賑やかな駅前のまちが空き地になって寂れていく街を少しでも変えたくてオーナーに無理を言いテナントを借りて始めた。経営は大変で、ボランティアのスタッフに助けられてやっと軌道に乗ってきた。

店主は昭和3年大阪桜川に生まれ、卒業前日に空襲に遭い戦火を逃れ奈良に疎開した。20歳代半ばで結婚。

桜井市は昭和52年まで亀山製糸(株)大和工場が操業していて多くの人が働き街は賑わっていた。

(右の写真)

その後街はすさびれ、駅前の喫茶店や商店がなくなり空き地になっていった。

桜井を前のように元気にしたいとの思いで80歳の時、店を開いた。

94歳ながら年齢を感じさせない元気の秘訣は、よく寝ること。また、生きる源は感謝すること。

番組の「となりの人間国宝さん」に認定された。

右の写真は桜井市市制施行公文書

昭和31年(1956)作成 奈良県立図書情報館所蔵



近鉄桜井駅前



亀山製糸大和工場



製糸作業場風景